

●授業デザインを考える視点の例

①課題の質

- ・知識獲得型
- ・知識活用型
- ・探究型

②教員の関わり方

- ・知識伝達（講義）
- ・ファシリテーター
- ・活動の補助
- ・壁紙

※「やり方 (doing)」と「在り方 (being)」という視点

③活動内容

- ・自分たちの力のみで進める
- ・教員からの講義があって、それを受けて自分たちで活動を進める。
- ・自分たちで活動を進めた後で、教員からのまとめの講義がある。
- ・個人で活動する。
- ・グループを組んで活動する。(ランダム or 恣意的 or 自由)
- ・個人活動、グループ活動をそれぞれが判断して自由に活動する。

※「手段の目的化」は起こっていないか？

※対話することの価値はどこにあるか？

※終了後に対話の内容の共有は必要か？

④講義の位置付け

- ・講義の目的
- ・内容（基礎的内容、発展的内容、自由な対話、雑談など）
- ・長さ（全体の何%を講義にするか）
- ・講義動画

※教科書、配布資料を使った学びには何が足りないのか？

※動画での講義では何ができて何ができないか？

⑤評価

- ・授業への関わり
- ・課題提出、ノート提出
- ・成果物作成（レジュメ、スライドなど）
- ・プレゼンテーション
- ・定期試験

※「評価」をすることのメリット・デメリットは？

※その「評価」は授業の「目的」と合致しているか？

※「評価」をすべきもの、「評価」をすべきでないものは、どのように判断されるか？